

広高等学校の1・2年生が外務省職員の講演を聴講します

— 外務省「高校講座」 オンラインによる講演会及び座談会 —

広高等学校は、平成30年度から令和2年度の3年間、広島県教育委員会から「高等学校課題発見・解決学習推進プロジェクト」に係る研究開発校の指定を受けています。「社会に開かれた教育課程」の一環として、生徒達は、地域社会、行政、産業界、大学等といった実社会と積極的に接続を図る“真正、リアル”な学びを通じて、さまざまな事象を「自分ごと」として捉え、深い学びへと進めています。

また、外務省は平成7年度から、全国の高校に外務省職員を派遣して、「高校講座」として講演を実施しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインによる講演の実施が予定されています。

今回、本校生徒が、地元出身で呉・広地域にもゆかりのある外務省職員による講演を聴講することにより、外交・国際問題等に対する関心や理解を深めるとともに、生徒一人一人がこれからどのように学び、社会と関わるかを考える契機になると考えています。

1 日時：令和3年2月9日（火） 14：15～16：30

14：15～15：25 リモートによる講演会

15：50～16：30 リモートによる座談会

2 場所：広高等学校 第1・2学年HR教室及び国際交流室

（呉市広大新開三丁目6-44）

3 講師

外務省 中東アフリカ局 アフリカ部 アフリカ第二課 主査 しんぐうきや か 新宮 清香 氏
（略歴）

平成22年外務省入省。北米第二課、米国研修、在ウガンダ日本国大使館、在スウェーデン日本国大使館、軍備管理軍縮課を経て、現在、アフリカ第二課勤務。